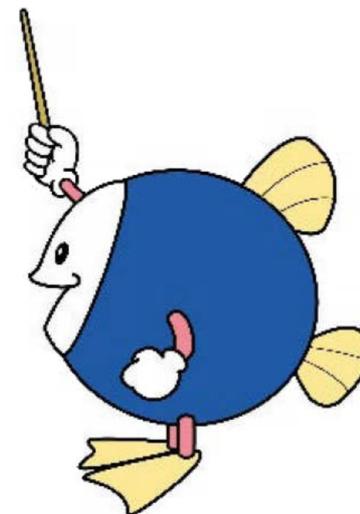


令和2年度 第1回
鎌倉市下水道事業運営審議会
～下水道事業会計のしくみについて～

令和2年(2020年)7月16日(木)
神奈川県鎌倉市



下水道のマスコットキャラクタースイスイ

鎌倉市下水道事業会計予算書

第1条	総則	
第2条	業務の予定量	排水区域面積、年間処理水量など
第3条	収益的収入及び支出	収入: 営業収益(下水道使用料)など 支出: 営業費用など
第4条	資本的収入及び支出	収入: 企業債、他会計補助金など 支出: 建設改良費、企業債償還金など
第4条の2	特例的収入及び支出	未収金及び未払金
第5条	債務負担行為	業務等の期間が複数年に及ぶ事業費の期間と限度額
第6条	企業債	起債の目的、限度額等
第7条	一時借入金	一時借入金の限度額
第8条	予定支出の各項の経費の金額の流用	
第9条	議会の議決を経なければ流用することのできない経費	職員給与費
第10条	利益余剰金の処分	減債積立金

会計方式の違い

一般会計

官公庁会計

単に、現金支出を記入する単式簿記

- ①支出の規制
- ②収入支出の執行管理
- ③将来にわたる政策の計画決定

下水道事業会計

公営企業会計

取引をその原因と結果に分け「仕訳」によりこれを記録し、財務諸表を作成す複式簿記

- ①支出の規制
 - ②収入支出の執行管理
 - ③将来にわたる政策の計画決定
- +

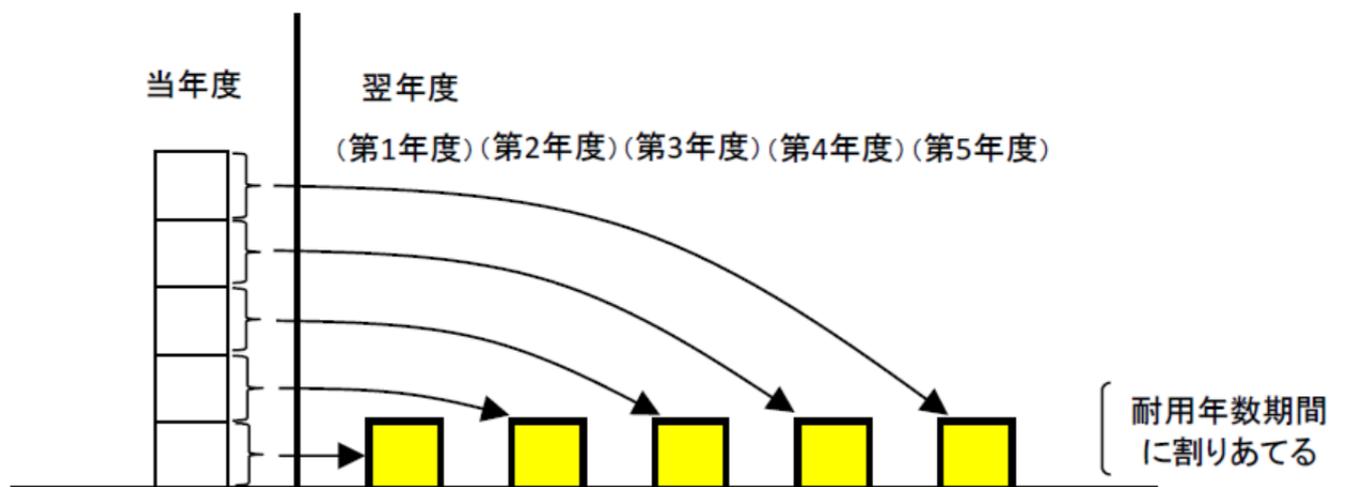
- ・経済性の発揮
- ・過度の支出規制は収入の減少となるなどを考慮

公営企業会計のしくみ

■ 公営企業会計と官公庁会計の相違点

- ・ 現金主義ではなく発生主義である
- ・ 単式簿記ではなく複式簿記である
- ・ 期間損益計算・費用配分という観念がある

<減価償却のイメージ>



公営企業会計のしくみ

■ 公営企業会計と官公庁会計の相違点

・ 損益取引と資本取引の区分がある

① 収益的収支: 支出の効果が当該事業年度の費用として処理され、当該事業年度の収益に対応するもの

収益的収入	料金、受託工事費等
収益的支出	人件費、材料費、減価償却費、支払利息等

② 資本的収支: 支出の効果が翌事業年度以降に及び、将来の収益に対応するもの

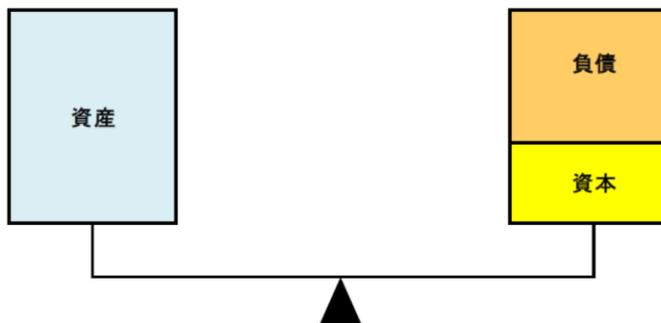
資本的収入	企業債、出資金等
資本的支出	建設改良費、企業債元金償還金等

・ 資産、負債及び資本の観念がある

$$\text{資産} - \text{負債} = \text{資本}$$

$$(\text{資産} = \text{負債} + \text{資本})$$

<「資産」と「負債・資本」とは常にバランスしている>



総務省: 地方公営企業法の適用に関するマニュアルから抜粋

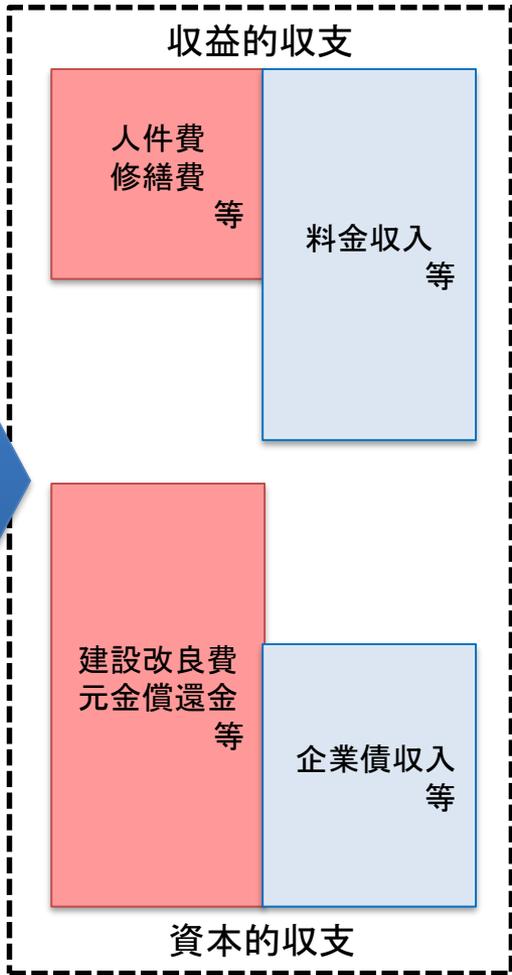
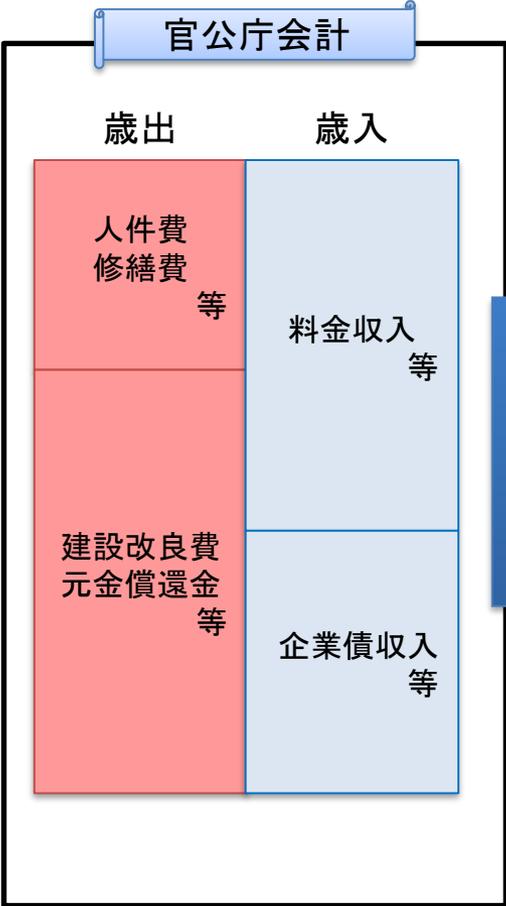
公営企業会計のしくみ

■ 公営企業会計と民間企業会計の相違点

- ・ 一般会計繰入金の取扱いがある
- ・ 予算制度がある

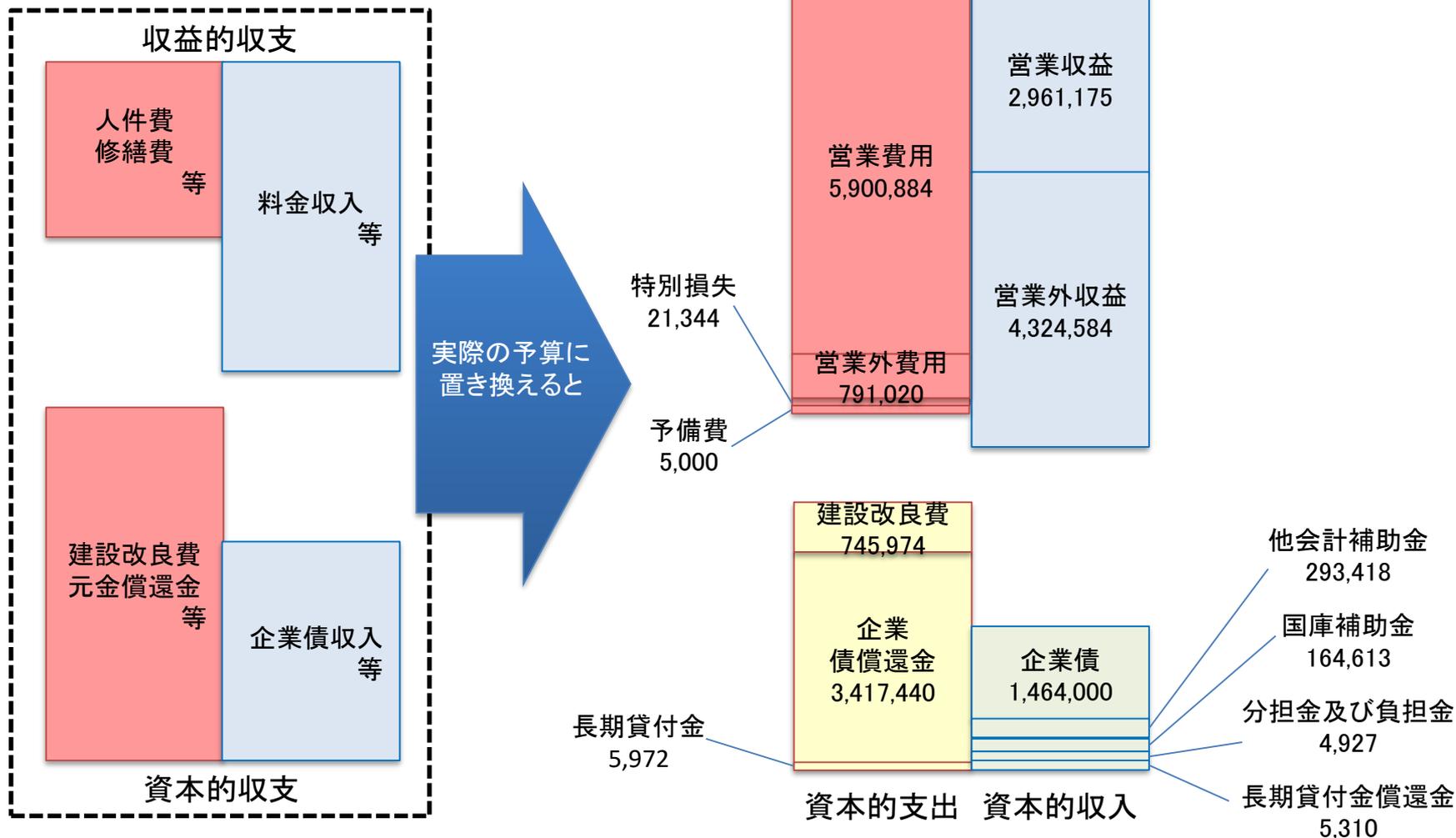
	公営企業	民間企業
事業が指すもの	公共の福祉	企業利益
決算の目的	行政目的を達成するために予算が適正に執行されたかを報告	企業活動の財務状況、経営成績などの報告

収益的收入及び支出(収益的収支:3条予算)
 資本的收入及び支出(資本的収支:4条予算)

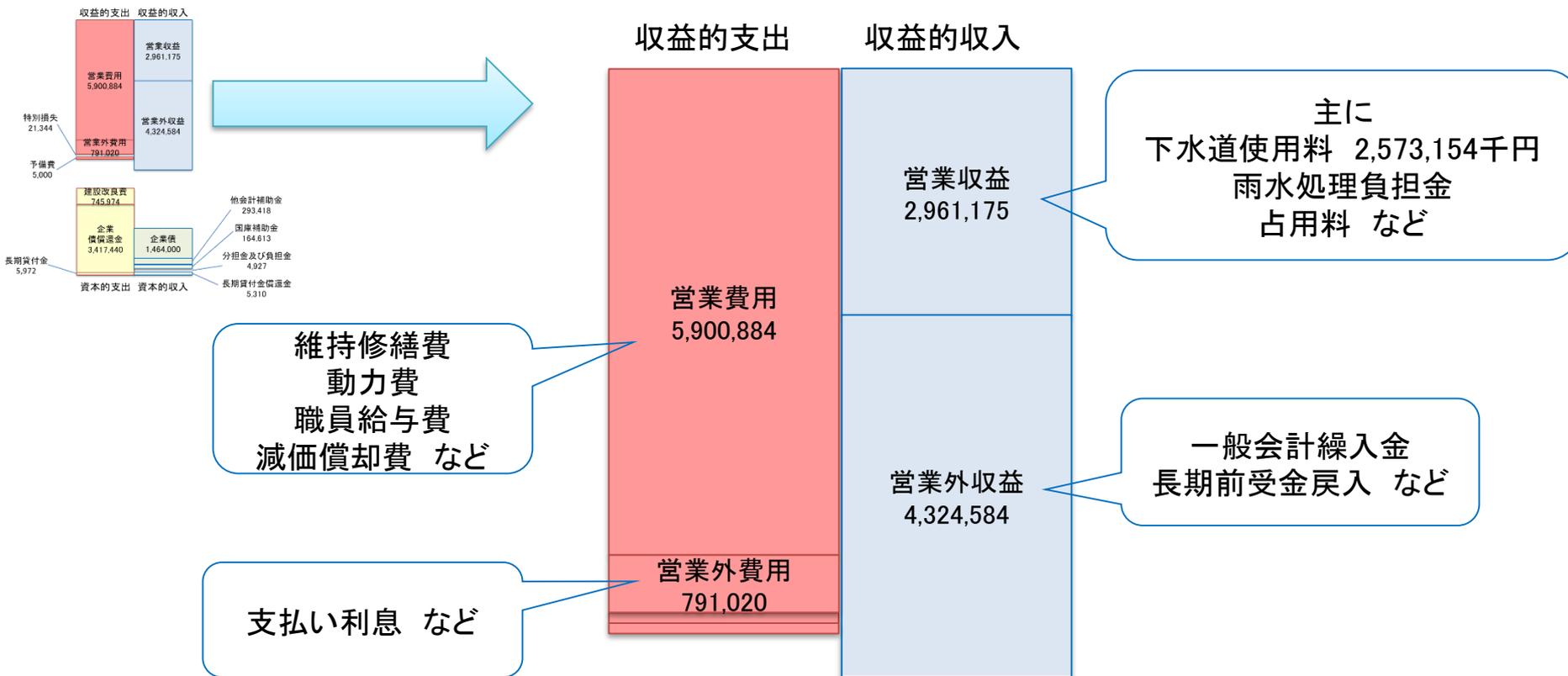


総務省自治財政局公営企業課:公営企業の経営改革推進に向けた重点施策に関する説明会資料から作成

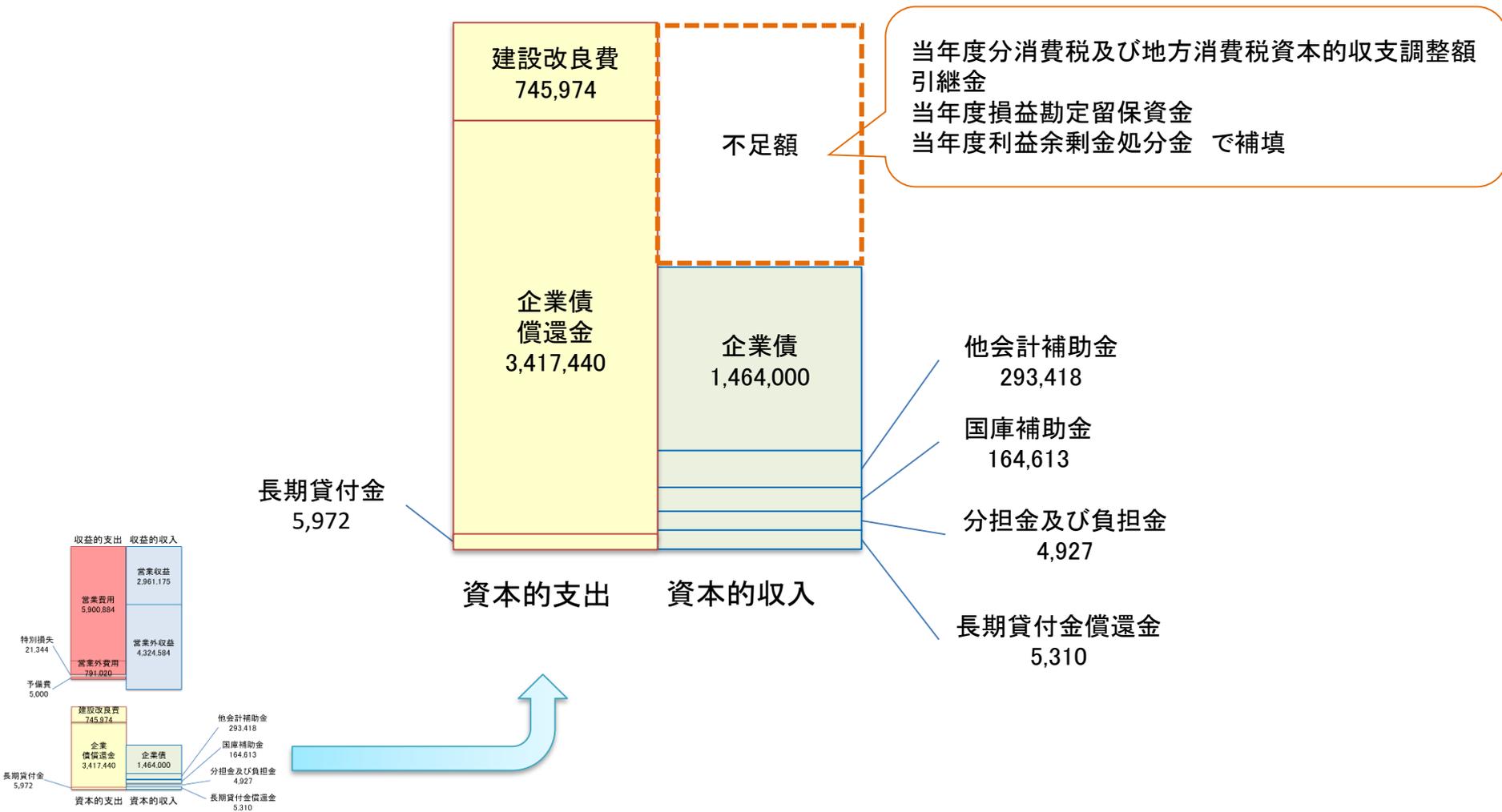
収益的収入及び支出
資本的収入及び支出



収益的収入及び支出

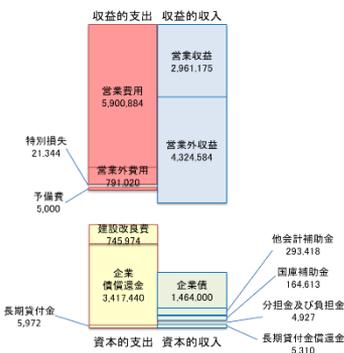
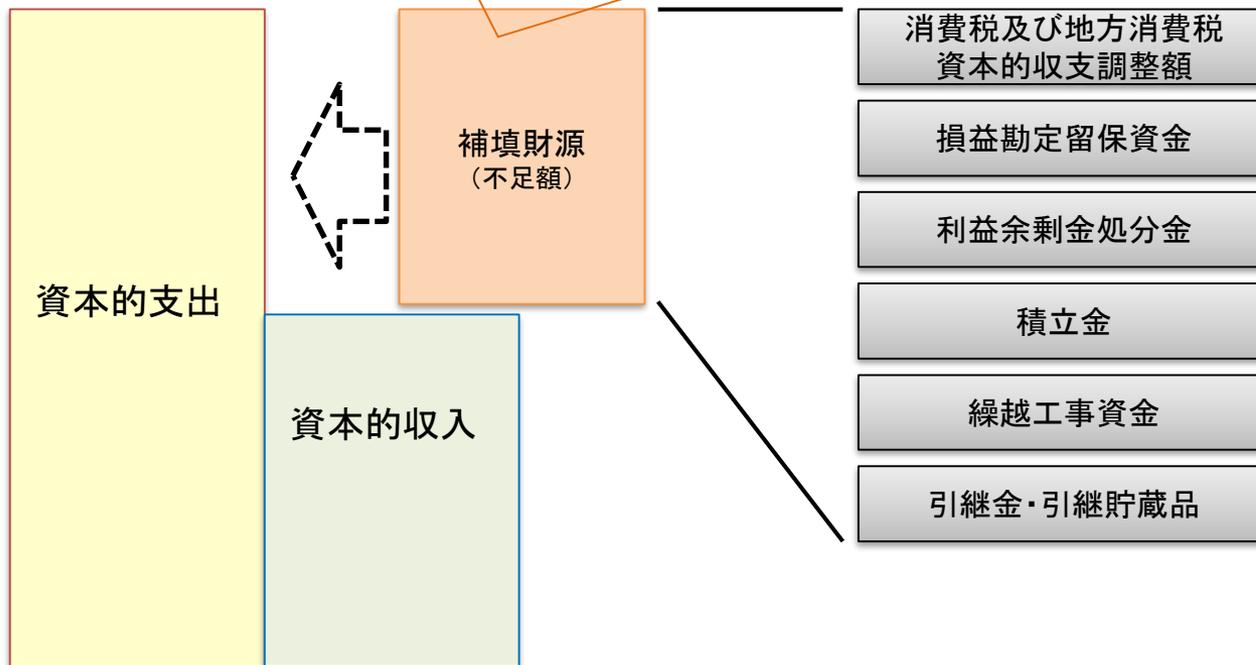


資本的收入及び支出



補てん財源

平成31年度予算では
 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額
 引継金
 当年度損益勘定留保資金
 当年度利益余剰金処分金 で補填



総務省：地方公営企業法の適用に関するマニュアル(平成31年3月改訂版)から作成

